

・報告（2） 新しい総合事業に関するアンケート調査の実施について

1 調査の目的

新しい総合事業の実施後の、

- ・ 関係事業所（訪問・通所・包括・居宅）における状況
- ・ 訪問型サービスA・通所型サービスCの利用が低調であることの理由
- ・ 訪問型サービスA従事者養成研修の修了者が雇用に結び付いていないことの理由
- ・ サービスを利用するにあたっての流れや、サービス内容等についての利用者の理解度

などについて検証し、今後の事業の運営に資することを目的とする。

2 調査の期間

平成30年1月23日（火） ～ 平成30年2月5日（月）

3 調査の対象および調査により確認したい事項

種 別	訪問介護事業所 通所介護事業所	地域包括支援センター 居宅介護支援事業所	新しい総合事業の サービス利用者
対象数	173 か所（訪 86+通 87）	114 か所（包 10+居 104）	50 人（うち訪問A利用者 7人）
確認したい 事 項	①トラブル等の有無 ②訪問A・通所Cの需要量 ③訪問A・通所Cの供給量 ④訪問A・通所Cの需給 ミスマッチの背景 ⑤訪問A・通所Cの供給量 の増に際しての障壁 ⑥介護人材の裾野の 拡大可能範囲 ⑦利用者負担額の公平性の 是正の可能性 など	①トラブル等の有無 ②基本チェックリストの メリット・デメリット ③訪問A・通所Cの需要量 ④訪問A・通所Cの 需給ミスマッチの背景 ⑤利用者負担額の公平性の 是正の可能性 ⑥インフォーマルサービス の活用の可能性 など	①事業についての理解度 ②基本チェックリストの メリット・デメリット ③利用サービスを決めた経緯 など